

千刈狸の呟き

ジェネリック薬（G薬）

最近、外国の人々が日本の薬をのみ、日本人は海外のG薬を服用している。不思議な現象だ。海外における種々の食品関連の問題や、米国で数年前多くのペットがペットフードのせいで亡くなったこと等を思い出す。私は現在行われている〇〇〇〇〇「メーカー名」の記載を変更して、原産国別に例えば〇〇〇〇〇「JPN」（Japanの略）記載させて欲しいと思う。「JPN」のしるしが信頼のマークだ。G薬で健康被害等があった場合、処方医は責任を感じる事になる。しかし数あるG薬の中からその薬を選択しているのは薬局であり処方医ではない。処方医が銘柄の指定をするのは現実的には困難となっているためと思われる。G薬に関わるストレスは、降圧剤やピロリ菌の除菌等感染症の治療が円滑にいかない場合に感じる。その理由は、G薬の有効性が先発薬より低いのかとしたり、あるいは、その薬の出所情報や詳細が不明であるため不安を感じるからだ。品質保証を担保するシステムとしての「JPN」の利用を提案する。

SGLT-2 阻害剤に関して

糖尿病治療にはこれ、食事療法が困難な方にこれがいい。尿中にブドウ糖を排泄させる薬で、極めて効果的に作用する。従って糖尿病治療の新たな柱になっている。

Dose man live to eat or eat to live?

Man dose not live to eat, but eats to live.

Eat to live, do not live to eat.

～ 最近の薬と食事 ～

蒼 狸

この薬が登場し、このあたりがややこしくなった。この薬では、食べたものを通過させ無害化することを狙っている。すなわちこの薬は、「人間は単に食欲を満たすために食べる」ことを受け入れ、その代わり食べたブドウ糖を消去する方法を取っている。また私は余ったものを捨てるのはもったいないので食べたくなる。すなわち「人間はもったいない時も食べる」のである。食べ物がふんだんにある世界の幸と不幸、贅沢な世界が続く。

食事療法をうまくできない！

（A）自分がやる気があるのにできない場合

- ①患者さんが学習不足のため正しい食事ができない
- ②医師の勉強不足で指導がうまくいかない。この場合食事療法ができなかったことを後悔する。結局愚かな自分のせいで病気になったのということになる。この様な事はあってはならない

（B）自分がやる気がない場合

- ①自分はこのままでいい、悪くなくても構わないと考えてしまう＝自己否定
 - ②自分だけは病気にはならないと考える＝自己肯定～過信
- これらをどう解決するか。真理は事情に配慮せずとういうか、因果関係から逃れることはできないことを認めてもらおう。血液データは客観的に動くし、その帰結も私たちの希望をくむことはない。だから私たちは自分のデータを直視しそのまま受け入れなければならない。

